

年 組 名前：

田んぼの生き物 児童が観察

忍 野

忍野村は同村内野の田んぼで、小学生を対象にした「田んぼの生き物調査」を実施した。

日頃から村ユネスコ協会の活動に携わる児童14人が参加。田植えが終わった田んぼに入り、網を使ってオタマジャクシやワカサギの稚魚などを捕まえた＝写真。日本自然保護協会の伏見勝さんの指導を受け、図鑑を見ながら生き物を観察した。

村観光産業課の担当者は「田んぼの生き物を確認することで水質の調査につながり、農村の



保全に結び付く」と説明。「子どもたちが田んぼに触れる機会が減っている。農業を身近なものに感じてほしい」と話した。

〈高橋咲良〉

(2025 年 8 月 2 日付 山梨日日新聞 17 面)

田 生き物 児童 観察 忍野村 同村 内野 小学生 対象 調査 実施 日頃 協会 活動 携わる
児童 人 参加 田植え 終わり 入り 網 使う 稚魚 捕まる 写真 日本 自然 保護 伏見勝 指導
受ける 図鑑 見る 観光 産業課 担当者 確認 水質 農村 保全 結び 付く 説明 子ども 触れる
機会 減る 農業 身近 感じ 話し

= = = = =

問1 忍野村が小学生を対象に「田んぼの生き物調査」を実施しました。児童は、なにを捕まえましたか。

.....

問2 村の担当者は、この取り組みは、なにの調査につながり、なにの保全に結び付くと説明しましたか。

・.....の調査 ・.....の保全

問3 あなたなら、なにを調査して、なにをしてみたいですか。自由に答えてください。

・なにを調査:.....

・してみたいこと:.....